

アザレアつうしん
2022.4月

東久留米国際友好クラブ



となりの外国人はどんな人？



見えない出口に向かって

出口の見えないトンネルが続いています。明日がどうなるかわからない不安もあります。でも心配ばかりしていても仕方ありません。夏は子どもたちを誘ってペットボトルロケットを青空に打ち上げました。日本語教室もコロナの合間を縫うようにして開いては、学習者とボランティアが交流しています。東久留米五小の5年生と韓国の大学生とをオンラインで結んで国際交流授業も行いました。新年度もたくさんの外国人のお隣さんと仲良く交流したいと思っています。新しい仲間も募集中。よかったら一緒に活動しませんか？

日本語教室

4つのクラスには15か国の外国人が在籍。ここは、にぎやかな多文化交流の場です。



日本でメリークリスマス



1枚の写真で自己紹介(ペルーの方)



子どもクラス◎みんな元気！



日本語教室ボランティア説明会(6/1)

活動に興味のある方 15 名を対象に、市役所のホールでボランティア説明会を開催、私たちの活動の歴史や日本語教室、国際交流活動を紹介しました。続いて 6/22, 29 には新人ボランティア研修会を開き、実際に活動しているボランティア、外国人の学習者が数名ずつ登壇してパネル形式で参加の動機や体験談を語りました。ボランティアからは「多文化交流に関心があった」「地域の外国人をサポートしたかった」「外国人と伴走する気持ちが大切」といった声がありました。学習者からは「日常生活の困りごとにも相談にのってもらえる」「いろんな国の人と交流できて楽しい」などの感想が聞かれました。

研修の後半ではボランティアと学習者が小グループに分かれて楽しく懇談しました。



秋のボランティア研修会(11/8, 23)

ZOOM による研修は、さいたま市で活動する「地球っこクラブ 2000」「あそび捨てんきりん」「多文化子育ての会 Coconico」の3人の女性



リーダーに講師をお願いしました。テーマは「やさしい日本語&オンライン学習の活用」と「地球っこグループの挑戦 日本語教室の新たな可能性を探る」です。講師陣が熱く語ったのは、教科書を使って日本語を教えるのではなく様々な体験、交流を通じて日本人と外国人、あるいは外国人同士がお互いに学び合い、感謝し感謝される関係づくりを大切にする考え方です。外国人も地域社会の一員として活躍する多文化共生のまちづくりに地域の日本語教室はどんな役割を担うべきか、大いに勉強になりました。



一斉メールは お役に立っていますか？

コロナ禍に翻弄された 2021 年の日本語教室は 6 ヶ月が閉室になりました。このような中 HIF 会員への連絡・情報提供のツールのひとつとして一斉メール発信を積極的に行いました。1 年間の総発信件数は 61 件でした。その中で HIF 行事関連が 25 件、外部講習会などのお知らせが 17 件でした。一斉メール以外にも HIF ホームページのトップページ及び Facebook を使って情報発信を行いました。半年以上も顔を合わせることの無い中での情報発信でしたが、皆様のお役に立てたでしょうか？これからもタイムリーな情報発信に取り組みたいと思います。

スクールサポートチームの取組み

「外国人から見ると日本の学校は別世界」と言われます。給食、連絡帳、学校行事…。どれひとつとっても正確な理解は難しく、実は外国人を受け入れる学校側にも不安や戸惑いは少なからずあるようです。スクールサポートチームは、保護者や学校の負担を少しでも減らせる取組みができれば…と 4 年前から活動を始め、ガイドブックなどを作ってきました。今年度は子どもの**食物アレルギーの確認票**を 11 言語で作成し、外国人新入生を迎える小学校にお渡ししました。また 3 月と 4 月には外国人保護者を対象とした



「書類の読み書きサポート」を行います。

たべもの アレルギーについて
About food allergies
ආහාර අසාත්මිකතා ගැන



①【あなたの こどもは「たべもの アレルギー」がありますか？】
Does your child have food allergies?
ඔබේ දරුවාට ආහාර අසාත්මිකතා තිබේද?

↓
はい/ Yes/ ඔව් いいえ/ No / නොමැත
↓

例 食物アレルギー確認票～シンハラ語版

- やさしいにほんごと英語を併記
- 他に、下記の言語版を作りました。
英語・中国語(簡体字・繁体字)
韓国語・タガログ語・ベトナム語・スペイン語
ネパール語・インドネシア語・モンゴル語

私たちの友好団体～カモン会



カモン会は、外国人とのコミュニケーションを楽しむ場所です。毎月第 2 火曜日の朝 10 時から 11 時半には市役所向かいの「スペース 105」で出入り自由の“お喋りの会”を実施。時には催しを行い、おとなも子どももワクワク(^_^)できる時間を提供しています。



作って飛ばそう！
ペットボトルロケット
in 六仙公園



地元のラジオ局 FM ひがしくるめ 「コノマチ☆サークル」に出演



ON AIR

2021 年の 3 月に子どもクラスから 3 名のボランティアが出演し、会の設立のきっかけや子どもクラスの様子などをお伝えしました。今後あらたな出演予定もあります。皆さまお楽しみに！

外国人とともに創る町



Tiếng Việt ベトナム語	
Thuế thị dân 市民税	
1. Thuế thị dân	 2
2. Khai báo thuế thị dân	 3
3. Thanh toán thuế thị dân	 7
4. Giấy chứng nhận nộp thuế thị dân	 9
5. Khi có thắc mắc về thuế thị dân	 11
1. 市民税 2 2. 市民税の申告 3 3. 市民税の納付 7 4. 市民税の証明書 9 5. 市民税についての問い合わせ先 11	

市民税のしおり（多言語版）

東久留米市役所課税課からの依頼で「市民税のしおり」の多言語版（やさしい日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語）を作成しました。HIF 会員とそれぞれの国の方が一緒に作業に携わりました。国によって税の制度は様々です。「市民税」というものがない国の学習者は「市民税？」とびっくりしており、しおりの作成にあたっては言葉の選択に苦労があったことと思います。日本人ボランティアにも知らないことがあり、ともに学ぶことができた有意義な時間でした。このしおりは 2021 年 12 月から配布されており、課税課や地域センターでもらうことができます。

親子 30 人が世界の言葉と手遊びを体験（10/27）

市立中央図書館は毎年、読書の秋に図書館フェスを開きます。私たちはその中で外国語による絵本の読み聞かせイベント「ストーリーフェスタ 2021」に協力しました。今回の言語と絵本は、英語「ガンピーさんのふなあそび」、韓国語「おやおや、おやさい」、タミール語「はらぺこあおむし」です。読み手は日本語教室の学習者やそのお知り合いの方です。韓国の手遊び「🍅トマトダンス」も披露、30 人の親子が楽しいひと時を過ごしました。図書館フェスの「ひとハコ図書館」にも参加し、HIF は「隣の外国人に会える図書館」を展示。多文化共生に関する書籍などを紹介しました。



東久留米市立第五小学校 国際交流授業（1/20）

今年も第五小の 5 年生と韓国の大学生たちが国際交流授業を行いました。昨年に引き続きオンラインでの開催です。画面の向こうは韓国ですが行き交う言葉はその距離を感じさせません。今年は「食事・観光・エンターテインメント」をテーマに紹介し合いました。最後は 5 年生が力のこもった「五小ソーラン」を踊り、韓国は K-pop のリズムに乗せてテコンドーの型をアレンジしたダンスを披露しました。楽しい雰囲気の中、メリハリの利いた発表が目白押しで大変充実した交流でした。



4 言語表記の避難所看板

外国人と日本人の間には「経験の壁」があると言われます。避難所の理解もそのひとつ。市の防災防犯課は HIF や外国人と意見交換を重ね、この看板を作りました。やさしいにほんごで「逃（に）げる ところ」と書いてあります。外国人の小学生も「よくわかる！」と言っていました。避難所は、災害時にはだれもが使える場所なのです。

日本語教室で学んでいます



ダビデさん



キリスト教の宣教師をなさっている**米国人**のダビデさん、穏やかなお人柄そのままに、もの静かな声でインタビューにお答えいただきました。「昨年の十月に結婚しました。式はyoutubeで配信、式後にZOOMで両親に祝ってもらいました。コロナ後はZOOMを使うことが多くなりました。毎週行っている炊き出し活動は集まってくる人たちと以前のように交流することができなくなり残念です。でもコロナ後も交流や助け合い、困りごとの共有などをいっそう大切にしたいと思います。日本語教室は1対1でじっくり話ができるし学習以外のイベントも楽しみ。日本語を忘れないためにも学習はこれからも続けていきたいです。」

スザン君

スザン君のお国は**ネパール**、首都のカトマンズで生まれ育ちました。2020年8月に来日し、2021年4月から学校に通っていて現在3年生です。ひらがな、カタカナは読めますが漢字はまだちょっと苦戦しているようです。HIFの子どもクラスには昨年の暮れから通い始めたばかりですが1月の終わりごろからコロナで教室が休みになりとても残念です。お母さんもおっしゃっているように子どもクラスは大好きで遊び仲間もできたところでした。教室が再開されたらまた一緒に勉強したり遊んだりしながら、少しずつ日本語を覚えていきましょう。

ダンさん



2017年に**ベトナム**北部のティン・ホア省から来日し、ご主人と日本での生活を始めたダンさん。近況を伺いました。
●仕事：4年前からコンビニで働いています。仕事には慣れました。インドネシアやモンゴルのお客さまも来ます。日本人との会話は時々難しいです。今でも店長から敬語の使い方を注意されることがあります。
●趣味：畑が大好きです。市民農園を借りて、春菊や空心菜、へちま、とうもろこし、モロヘイヤなどを作っています。友達もいます。仕事のあと見に行きます。それからプールも大好きで、行くと日本人とおしゃべりをします。
●日本語教室：みんなに会いたくて行きます。勉強ができます。そして困ったことなどを話せます。地震のことなど情報がもらえます。

こはく 胡泊さん



2008年大学院の留学生として来日し、途中4年間出産等で中国に帰りました。在日期間は長いですが、日本語は難しく、最初は日本人と話す機会が有れば30分位は外国人だとバレない事が目標でした。しかし、仕事や子育てが忙しくて、日本語の勉強の時間が有りませんでした。2019年に自宅近くの図書館へ行った時に、日本語教室の看板を見つけて教室を訪ねました。日本語教室は勉強だけでなく、日本の伝統・文化・生活習慣等を体験や学習し、国の区別なく、困った時に助けてくれて感動しています。私もボランティアの精神の影響を受けて、去年からNP0法人日本国際支援協会に参加して、子育てで忙しい中国人のお母さんたちを助ける為のプログラムを作り、家庭教育の講座と相談会を50回以上行いました。これからも日本語教室で学習し、自分の力を出して、他の方も助けて行きたいです。

私たちと一緒に活動しませんか！

日本語教室：おとなのクラスは(月)(水)(木)の午前中。子どもクラスは(水)の夕方。
日本語教室は東久留米市との協働事業です。日本語で日本語を教えます。外国語力は不要です。

〈アザレアつうしん〉2022.4月発行



東久留米国際友好クラブ(HIF)

HP: www.hif201206.sakura.ne.jp

メールアドレス: hif1993@yahoo.co.jp

